

# イノシシの出没に注意!

イノシシの目撃情報が寄せられています。イノシシを見かけたら、慌てずに行動しましょう。田畑が被害を受けた場合や痕跡を発見した場合は、農水産課に連絡してください。市では、農作物被害を防止するための助成をしているので、活用してください。



## イノシシの被害を減らすために

●イノシシは雑食で、餌のある所にすみ着く習性があります。出荷しない農産物や生ごみ、木の実などは放置せず、ネットをかぶせる、埋設するなどしましょう。

●イノシシは見通しの良い場所を嫌います。山際や耕作放棄地の雑草を刈り、潜伏できる場所を減らしましょう。

## イノシシに遭遇したら

●イノシシを見かけたら、慌てずにその場から離れ、イノシシから見えない場所に隠れましょう。

●イノシシは本来臆病な動物ですが、大声を上げたり、物を投げたりすると、パニックを起こして襲ってくる場合があります。

るので、刺激しないようにしましょう。

## 害獣対策に補助金

### ●電気柵の設置

対象／市内の農業者で、イノシシなどによる農作物被害を防止するため、市内の農地に電気柵を設置する人

補助額／電気柵の資材費の2分の1で、上限10万円

### ●わな猟免許の取得

対象／市民で、今年度新たにわな猟免許を取得し、銚海猟友会に入会した人

補助額／試験費用・講習会費用で、上限15、200円

## 申し込み・問い合わせ先

農水産課農業基盤整備班

☎74・3660

## 秋・冬の対策で効果的な駆除を

### ジャンボタニシの被害を防ごう

ジャンボタニシは4月下旬から10月上旬にかけて、1匹のメスが数千個の卵を産みます。

ジャンボタニシによる水稻被害を防ぐために、秋・冬に効果的な駆除を行いましょう。

#### ジャンボタニシの特徴

ジャンボタニシは水中と陸上で呼吸をすることができます。活動範囲が広く、田植え直後の水稻苗などの柔らかい有機物を好んで食べます。暖かい時期は活発に活動し、寒くなると耐寒性がないため生息数が減少します。

#### 秋・冬にできる効果的な駆除方法

ジャンボタニシは土の中で越冬するため、秋・冬に水田をトラクターで丁寧に耕すことで、貝殻をつぶしたり寒気にさらしたりして、生息密度を下げるすることができます。



#### 問い合わせ先

農水産課振興班(☎74-3671)

## 野鳥の保護に協力を

### 野鳥への餌付けはしないでください

渡り鳥の飛来シーズンを迎えました。動物愛護の気持ちから野鳥に餌を与えたいこともあると思いますが、野鳥を保護するため、餌付けなどの人為的な影響を極力少なくし、自然のままそっと優しく見守りましょう。

#### 生態系を守ろう

野鳥は厳しい自然の中で、自ら餌を取って生きています。安易に餌付けを行うことは、人が与える食物に依存して自ら餌を取らなくなり、自然に順応できなくなるほか、渡りの時期やルートに変化を及ぼすことが心配されます。また、本来は食べない調味料や添加物が体内に入ることによって、病気などが発生する恐れがあります。

#### 感染症の拡散を防ごう

昨年は、全国各地で野鳥などから高病原性鳥インフルエンザウイルスが多数検出されました。餌付けにより多数の野鳥が密集すると、野鳥同士の接触が進み感染症が拡大する恐れがあります。

また、野鳥のふんが靴底などに付着し、病原体が拡散することがあるので、野鳥を観察するときは、近づき過ぎず、必要に応じて靴底を洗い流しましょう。



野鳥への餌付けはやめましょう

#### 問い合わせ先

農水産課畜産班(☎74-3633)